

記入例

防災世帯台帳

秘

※台帳は、個人情報に配慮して、災害時や緊急時に安否確認や資格・技能者を確保する目的で作成し、自治会長・自主防災会長が責任をもって保管します。その他の目的では使用しません。

自治会名 **藤枝第5**
町内会名 **岡上山1丁目 (1)組**
自主防災会名 **岡上山1丁目**

【作成日：令和〇年〇月〇日・更新日： 年 月 日】

世帯主名	藤枝 太郎		電話番号	(054) 643 - 3111	
住所	〒 426 - 0026 藤枝市 岡上山1丁目11-1				
危険度	土砂災害(特別)警戒区域	はい・ いいえ		家屋倒壊等氾濫想定区域	はい・ いいえ
	浸水深【洪水】	0.5m未満・ 0.5~3.0m ・3.0~5.0m・5.0m以上		浸水深【内水氾濫】	0.5m未満 ・0.5m以上1.2m
住居構造	木造 ・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・その他()		住居形態	持家 ・借家・アパート・マンション・その他()	
住居の建築年代	昭和56年5月31日以前 ・昭和56年6月1日以降				
耐震診断・耐震補強	昭和56年5月31日以前の基準で建築された木造住宅の方のみ → 耐震診断 実施済 ・未実施 耐震補強 実施済・ 未実施				
避難先(地震)	一次避難場所	みどり公園		指定避難所	市民会館駐車場
	縁故避難先	氏名	岡部 静子	住所	東京都〇〇区△△町1-15
避難先(大雨) ※一時的な避難先	指定緊急避難場所	生涯学習センター → ※地区交流センターなど、地区による指定なし			
	縁故避難先	氏名	藤枝 一郎	住所	静岡県葵区〇〇町100番地
	在宅避難	自宅の浸水深以上の階		その他	

No	同居家族の名	続柄	生年月日	性別	平日(昼間)の居場所・電話番号	防災上の参考事項		
						資格技能 ※1	要配慮者(〇印) ※2	避難支援の必要性 ※3
1	藤枝 太郎	本人	昭和 18. 1. 1	男	自宅 643-3111		○	有・無
2	藤枝 花子	妻	昭和 20. 3. 1	女	自宅 643-3111		○	有・無
3	藤枝 静子	長女	昭和 44. 3. 1	女	〇〇医院 □□□-△△△	看護師		有・無
4								有・無
5								有・無
6								有・無

※1 療従事者(医師、看護師、助産師、保健師等)・介護職員・栄養士・調理師・手話通訳者など災害時に役立つ資格技能
 ※2 要配慮者…要介護認定、障害者手帳所持者、高齢者のみ世帯など災害時に配慮が必要な人
 問合せ先： **地域防災課(643-2110)**

※3 自ら避難することが困難で、支援が必要な人は「有」に〇印
裏面を記入してください。

【危険度】
各種ハザードマップ(地震災害、土砂災害・洪水、内水)を参照のうえ、〇を付けてください。



【住居の建築年代】
「住宅構造」で「木造」を選択した方のみ〇印を付けてください。

【一次避難場所】
地区内にある公園やふれあい広場など自主防災会で定めた避難場所

【指定避難所】
市が指定した避難場所、大規模な避難が必要な際に一定期間滞在する場所

【縁故避難先】
自宅から離れた地域にいる親戚・友人等、災害時に避難を予定している場所があれば記入してください。

【指定緊急避難場所】
市が指定した避難場所で、大雨や台風等により危険が切迫した緊急時に、一時的に生命を守るために緊急的に避難する施設

★地区による避難先の指定がないため、近くの安全な場所を選択可能



【資格技能欄※1】に記入する職種
 ◆医療従事者…医師、看護師、助産師、保健師 など
 ◆介護職員
 ◆栄養士、調理師
 ◆手話通訳者 など

★災害時に救護や避難所における支援に役立つ職業をお持ちの人は記入してください。

【耐震診断】及び【耐震補強】
昭和56年5月31日以前の基準で建築された木造住宅の方のみ〇印を付けてください。

【要配慮者に該当する人※2】
 ・要介護認定者
 ・障害者手帳所持者
 ・療育手帳所持者
 ・難病
 ・高齢者のみ世帯 など

★災害時に配慮が必要な人に、〇印を記入してください。

【避難支援の必要性※3】
要配慮者のうち、
◆自力で避難することが困難で、支援が必要な人は「有」に〇印を付けてください。
⇒ **必ず裏面を記入してください。**

◆自力で避難できる人は「無」に〇印を付けてください。

「避難先(一次避難場所・指定避難所・指定緊急避難場所)」は藤枝市のホームページで確認できます。
 トップメニュー ⇒ 組織から探す ⇒ 危機管理センター 地域防災課 ⇒ 市の計画・取り組み ⇒ 避難先